

# Rapport

2022  
Number

119

多摩大学 | 広報誌 |

## Vol.119 Contents

令和4(2022)年度春学期 褒賞者 .....	02
〈経営情報学部〉 秋季卒業のつどい .....	03
多摩祭 /SGS Festa .....	04
〈経営情報学部〉 学内業界研究セミナー .....	05
〈グローバルスタディーズ学部〉 湘南キャンパス施設設備改修 .....	05
ジェロントロジー企画 第10弾「稲刈り×講座」 .....	06
奥多摩町と包括連携協定締結 .....	06
鎌倉市と鎌倉市観光協会と包括連携協定締結 .....	06
〈グローバルスタディーズ学部〉	
シンポジウム 2022 .....	07
「海外からインバウンド誘致の提案」コンテスト .....	07
神奈川県教員採用試験 4名合格 .....	07
【訃報】多摩大学初代学長 野田一夫名誉学長 逝去 .....	08

# 多摩大学 2022 年度春学期 褒賞者

## 【経営情報学部】2022 年度 春学期 優秀学生賞

- ① 顕著に優れた成績を収めた学生（全科目）
- ② 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者（該当者のいる科目のみ）

◎印は、選出理由

科目名	◎	学生氏名
IT 活用法 I	①	大岡 千咲
IT 活用法 I	①	高橋 和磨
IT 活用法 II	①	松川 正輝
IT コミュニケーション入門	①	大島 隼人
IT コミュニケーション入門	①	柴田 優吾
IT パスポート	①	新井 健太
アジア経済論 I	①	長田 華山
アジア経済論 I	①	野中 柊希
アジア経済論 I	①	山田 ゆい
アントレプレナーシップ論	①	東良 紗里
アントレプレナーシップ論	①	降矢 悠太
English Expression I	①	相部 羽也斗
English Expression I	①	伊奈 誠哉
English Expression I	①	大岡 千咲
English Expression I	①	齋藤 鼓子
English Expression I	①	高山 亜未
English Expression I	①	柳澤 孝彰
Web デザイン I	②	佐藤 哲大
Web デザイン I	①	ヨリユウチン (楊 柳青)
Web プログラミング	①	松川 正輝
韓国語 I	①	井上 縁
韓国語 I	①	大林 愛礼
韓国語 I	①	高梨 志龍
韓国ビジネスコミュニケーション I	①	森 雅樹
キャリア・デザイン I	①	青山 優衣
キャリア・デザイン I	①	チョウゲンメイ (趙 彦明)
キャリア・デザイン I	①	西出 琉人
キャリア・デザイン I	①	山下 智也
キャリア・デザイン III	①	河原 和望
キャリア・デザイン III	①	中台 葵
教育心理学	①	天野 由梨
業界研究 I	①	中川 皓太
クリエイティブデザイン I	①	松井 友哉
グローバルビジネス入門	①	西村 和志
グローバルヒストリー I	①	相部 羽也斗
グローバルヒストリー I	①	浅沼 宏樹
グローバルヒストリー I	①	天野 翔太
グローバルヒストリー I	①	大石 真士
グローバルヒストリー I	①	今野 凜々
グローバルヒストリー I	①	齋藤 鼓子
グローバルヒストリー I	①	須崎 海玖亜
グローバルヒストリー I	①	高橋 和磨
グローバルヒストリー I	①	高橋 奈央
グローバルヒストリー I	①	高橋 華子
グローバルヒストリー I	①	谷口 亮太
グローバルヒストリー I	①	轟木 遥人
グローバルヒストリー I	①	萩原 向日葵
グローバルヒストリー I	①	光山 さくら
グローバルヒストリー I	①	宮嶋 千夏
グローバルヒストリー I	①	山本 泰希
グローバルヒストリー I	①	横倉 彩菜
グローバルヒストリー III	①	太田 凜音
グローバルヒストリー III	①	中澤 彩花
経営学概論	①	齋藤 夏美
経営学概論	①	田中 湖雪
経営学入門	①	大石 真士
経営学入門	①	大林 愛礼
経営学入門	①	東郷 聖弥
経営情報論 I	①	新井 健太
経営組織	①	農端 大和
国際関係論	①	佐藤 花乃
国際関係論	①	佐藤 綾真
国際関係論	①	白井 大裕
国際関係論	①	滝井 遥
国際関係論	①	中野 祥吾
国際経済学	②	武井 夕佳
国際経済学	①	馬場 啓介
国際ビジネス論	①	チョウゲンメイ (趙 彦明)
コンピュータネットワーク活用	①	佐々木 秀崇
サービス産業論	①	天野 由梨
サービス産業論	①	馬場 啓介
サブカルチャー論	①	齋藤 夏美
産業社会特講 (ジャーナリズム論)	①	長田 華山
産業社会特講 (地域の歴史と偉人から教訓を学ぶ)	①	田中 千尋

科目名	◎	学生氏名
産業社会特講 (労働の側面から見る新しい産業社会像)	①	佐藤 龍之介
事業構想論 I	①	齋藤 夏美
事業デザイン論 I	①	長田 華山
情報と職業	①	松川 正輝
情報と職業	①	米澤 珠巳
情報法	①	新井 健太
情報法	②	加藤 健太
情報法	②	柴田 優吾
情報法	①	白石 しおり
スタディースキル入門	①	伊藤 圭哉
スタディースキル入門	①	亀田 立
スタディースキル入門	①	今野 凜々
スタディースキル入門	①	高田 滯
スタディースキル入門	②	濱 大貴
スタディースキル入門	①	柳澤 孝彰
スタディースキル入門	②	山口 大河
スタディースキル入門	①	與田 雄太
スポーツ II	①	井上 保奈海
スポーツ II	①	本田 伊吹
スポーツと健康	①	小山 孝実
多摩学 I	①	荒川 陸人
多摩学 I	①	大岡 千咲
多摩学 I	①	大林 愛礼
多摩学 I	①	與田 雄太
多摩学 I	①	天野 由梨
地域観光論	①	伊藤 将吾
地域産業論	①	田中 温人
地域ビジネス入門	①	池田 琉斗
地域ビジネスプランニング	①	齋藤 夏美
中級簿記	①	白石 しおり
中国経済論	①	天野 由梨
中国経済論	①	山田 ゆい
中国語 I	②	佐藤 哲大
中国語 I	①	東郷 聖弥
中国語 I	①	横倉 彩菜
中国ビジネスコミュニケーション I	①	伊藤 真之介
中国ビジネスコミュニケーション I	②	田中 千尋
データサイエンス I	①	新井 健太
データサイエンス III	①	尾崎 真由子
データサイエンス III	①	柳崎 真伸
データ分析実践	①	中台 葵
哲学入門	①	浜木 彪我
TOEIC I	①	川端 将暉
TOEIC I	②	川端 将暉
TOEIC I	①	馬場 啓介
特別講座 I	①	新井 健太
日本語講座初級	①	オウエキキ (王 奕棋)
日本語講座初級	②	トウイテイ (党 億テイ)
日本語講座中級 I	①	オンチョウサン (温 昶彬)
日本語講座中級 I	②	コエルミヲ (趙 子昊)
認知心理	①	萩原 悠介
ビジネス数学 I	①	井上 保奈海
ビジネス数学基礎	①	齋藤 鼓子
ビジネス数学基礎	①	時原 礼
ブランドマネジメント	①	伊藤 将吾
ブランドマネジメント	②	古性 采樹
Practical English Conversation I	①	降矢 悠太
Practical English Conversation I	①	松木 章悟
プレゼミ I	②	伊藤 樹希
プレゼミ I	②	大島 隼人
プレゼミ I	②	小嶺 翼
プレゼミ I	②	田中 千尋
プレゼミ I	②	徳永 賢人
プレゼミ I	②	堀込 元陽
プレゼミ I	②	横田 晃大
プレゼミ I X03	②	佐藤 哲大
プログラミング入門 I	①	中川 広大
プログラミング入門 II	①	染谷 直希
Basic Office English I	①	リシン (李 希)
マーケティング・リサーチ	①	齋藤 夏美
ライフ・デザイン	①	大石 真士
ライフ・デザイン	①	高橋 奈央
ライフ・デザイン	②	徳永 賢人

※科目名 50 音順

## 2022 年度春学期 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

### ●経営情報学部

#### ■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
木下 明音

#### ■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
新井 健太

#### ■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
馬場 啓介

・区分 2

学生氏名
安西 佑騎
池田 琉斗
伊奈 誠哉
大石 真士
大内 一輝
大久保 侑輝
木下 翔太
佐野 誘耶
下鉢 知彬
須崎 海玖亜
高橋 和磨
高橋 奈央
高山 亜未
竹中 海翔
田中 優菜
萩原 向日葵
福島 花音
柳澤 孝彰

・区分 2

学生氏名
青山 優衣
伊藤 真之介
伊藤 響
井上 保奈海
岩間 大哉
河輪 拓樹
草刈 三結
公保 綾太
小山 孝実
齊藤 夏美
佐川 航太
佐藤 綾真
田中 俊太
チョウゲンメイ(趙彦明)
中野 倫太郎
西出 琉人
降矢 悠太
武藤 正哉

・区分 2

学生氏名
天野 真一朗
天野 由梨
伊藤 将吾
尾崎 真由子
加藤 迅人
田中 湖雪
田中 温人
中川 皓太
長田 華山
中台 葵
西潟 沙世
野中 柊希
農端 大和
萩原 悠介
廣野 祐太
藤森 龍
藤原 由翔
松川 正輝
山田 ゆい

### ●グローバル・スタディーズ学部

#### ■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
対象者無し

#### ■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
三輪 春音

#### ■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
石川 音和

・区分 2

学生氏名
大越 リエ
唐川 龍之介
木村 美らら
下田 恭平
庄司 康生
鈴木 陽菜多
津江 優菜
富田 音和
谷田部 まい子

・区分 2

学生氏名
小瀧 倫之
石井 羽留
石塚 南奈
加藤 泰介
川口 真依
倉島 舞
佐々木 歩美
ソクデットダビン
高田 晴高

・区分 2

学生氏名
乾 玲飛矢
大高 恵梨佳
清澤 拓己
佐々木 悠舞
佐野 磨李
林 梨乃
福島 愛海
八城 黎美
世安 爽愛

※氏名 50 音順

※学年は 2022 年度のものとなります

## 2022 年度秋季 経営情報学部 卒業のつどい

2022 年 9 月 17 日 (土) 多摩キャンパスにて、「2022 年度秋季 多摩大学経営情報学部 卒業のつどい」を執り行いました。今年度の秋季卒業生は 5 名、式典に出席した卒業生には、杉田文章副学長・経営情報学部長から学位記が授与されました。

杉田副学長は、「ほんの少し先を生きてきたものとして皆さんに 3 つのメッセージを贈ります。一つは自分自身の中心軸を大切にしておいて自分の価値を確信すること、もう一つは自分と同時に周囲も見つめること、そして自分の確信を信じて思い切って踏み出してほしいということです。学ぶ場であった大学は、これからの皆さんにとって迷ったときに戻ってくる場所となることも覚えておいてください。また皆さんとお会いして大切なこととお話する機会があることを楽しみにしています」とお祝いと励ましのことばを伝えました。金美德教授は、「寺島実郎学長が示す本学の教育方針である 3 つのキーワードは、アジアダイナミズム、DX、多摩学。学んだことをしっかりと確信し、新しい時代をつくるリーダーとしてご活躍いただきたい」と祝辞を述べました。卒業生代表として小澤翔さんは、「ゼミ活動を通してたくさんの討論やアイデアを生み出す場を与えられ、問題解決をする力を得ることができました。未来について語り合えるかけがえのない仲間に出会えたことは一番の喜びでもあります」とお礼のことばを述べました。感染症予防のため、着席のまま学園歌を静聴し、穏やかな雰囲気の中で卒業のつどいは終了しました。

(※ 集合写真では撮影時のみマスクを外しています)



2022年11月13日(日)、多摩大学学園祭「多摩祭」(経営情報学部)、「SGS Festa」(グローバルスタディーズ学部)が開催されました。今年が多摩キャンパスと湘南キャンパスを会場とした対面開催で、感染症対策を行いながらイベントが繰り広げられました。

経営情報学部 <多摩キャンパス>

## 2022年度 多摩祭

「創造～多摩らしさを作るのは私たちだ～」

3年ぶりの対面開催では数々のイベントが屋内で実施され、多くの家族連れがイベントに参加。実行委員のうち多くのメンバーが対面での開催経験がないなか、試行錯誤を繰り返して協力し合いながら準備を進めてきました。

### イベント内容

<ゼミ> 研究成果発表展示、多摩大神社、ワークショップ、プラネタリウム、紙飛行機、奥多摩バスソルト等の販売、自動運転車の進行を考えるゲーム、指向性サウンド体験、脳波トレーニング体験、アクション3Dゲーム、海外の物品展示(6プレゼミ合同)「多摩地域」モデルのシリアスゲーム<企画>ウクライナ支援チャリティー、ボードゲーム、ビンゴゲーム、eスポーツアトラクション、カラオケ大会、縁日、スタンプラリー<アリーナ>ドローン体験、AR水族館<001教室>音楽ライブ<講演>「多摩大学研究活性化委員会 研究サロン」(講師:浜田正幸教授)「観光まちづくりに関する先進技術の講演/VR体験」(主催:長島剛ゼミ)



多摩祭実行委員



アリーナで食事や交流



キッチンカー



受付に並ぶ来場者



プレゼミ合同シリアスゲーム



多摩大神社のおみくじ



奥多摩のバスソルトや石鹸、香水等を販売



配布用のお弁当を用意



ゲームでお菓子をゲット



音楽ライブ(音楽連合)



長島剛ゼミの講演

グローバルスタディーズ学部 <湘南キャンパス>

## SGS Festa 2022

「Again Face to Face～SGSオンラインやめるってよ～」

SGS Festa 2022 実行委員はTwitterやInstagramなどSNSを使って、学園祭開催前から事前準備の様子やイベントの告知を配信、当日は会場の様子を画像や動画で伝えて学園祭を盛り上げました。

### イベント内容

<メイン会場> 軽音サークルライブ、お笑いライブ、サイン・トークショー、縁日ゲーム(サッカーストラックアウト、カップインボール)、多摩大学・他大学合同対バンライブ<中庭屋台>射的、ドリンク、輪投げ、ヨーヨー釣り、ボーリング<サークル・ゼミ>箱の中は何だろう(EPU)、ゲーム大会(ダーツサークル)、ゼミ活動紹介(韓ゼミ・渡邊ゼミ)、展示・販売(佐藤ゼミ)<その他イベント>就職セミナー、就職個別相談会、International Cafe、大学説明会、藤沢名産品販売



開会宣言



集合写真



ダーツサークル



ダンスサークル



AEP(アカデミックイングリッシュプログラム)出店



AEP(アカデミックイングリッシュプログラム)出店



韓ゼミ



International Cafe



ゲーム企画



軽音サークル



後夜祭のビンゴ大会



EPU(Event Promotion Union)



就職セミナー

## 企業 28 社参加 2024 年卒生対象「多摩大学 学内業界研究セミナー」

2022 年 10 月 30 日 (日)、多摩キャンパスにて、2024 年卒 (3 年生) 約 300 名を対象とした「多摩大学 学内業界研究セミナー」(主催: 多摩大学経営情報学部 就職委員会・協力: 大学新聞社)を開催しました。毎年開催される「学内業界研究セミナー」は、3 年生にとって就職活動スタートの大切なイベントで、学生たちはスーツを着用し身だしなみを整えて臨みました。今回は、内定実績のある企業、多摩地域・神奈川地域などから企業・団体 28 社にご参加いただきました。浜田正幸教授(就職委員)は、参加企業・団体へ感謝の意を伝えるとともに、学生に向けて「就職活動の道は誰もが避けて通れない自分自身の道。この道を自分自身の意思で進んだ先に新しい未来があります。これまで見たことのない自分自身の未来が開けます。それを目指して今日は心して参加していきましょう」と就職活動への意識と意欲を促しました。企業の皆様は 001 教室で 1 社 1 分間の自社紹介を行い、その後、教室や食堂など学内各所に設置した企業ブースにて、説明会を 3 回、各回 30 分実施。学生たちは、それぞれ事前に選んだ 3 社を訪問し、社員の方々による業界や事業内容を熱心に聞いていました。

【参加企業】FSX 株式会社、エム・ケー株式会社、小田急不動産株式会社、株式会社オヤマダ、京西テクノス株式会社、共同コンピュータ株式会社、京王観光株式会社、ケル株式会社、コーナン商事株式会社、株式会社 CSS 技術開発、JA さがみ (さがみ農業協同組合)、株式会社シャンテリー、城南信用金庫、シンボー情報システム株式会社、ストラバック株式会社、第一カッター興業株式会社、多摩信用金庫、株式会社ツクイ、株式会社テイルウィンドシステム、東京ロジファクトリー株式会社、東成エレクトロビーム株式会社、医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院、株式会社ニックス、日本交通株式会社、八王子市役所、株式会社ビックボイス、武陽ガス株式会社、株式会社ミート・コンパニオン



企業による自社紹介

会場の様子

企業の説明会に参加する学生たち

## 湘南キャンパス施設設備の改修を実施

湘南キャンパスでは、夏季休業期間を利用して施設設備の改修をいたしました。今後も、学生の皆さんがより充実した学生生活を送ることができるよう支援していきます。主な改修箇所は以下の通りです。

場 所	改修内容
情報処理室 (W201 教室、W202 教室)	・PC・ディスプレイ、什器 (デスク、椅子)、カーペットタイル、及びブラインドのリプレイス ・ディスプレイアーム導入 ・壁塗装
学生用プリントシステム	1 台増設、設置場所の変更、及び機能の追加 (コピー機能、スキャン機能) 等
W 棟トイレ改修	学生からの要望の強かった W 棟トイレの利便性を向上
学食・W 棟エントランス・廊下	内装を変更
共用部ソファ・教室椅子	ソファ・椅子のクリーニングを実施



フリーアドレス型のレイアウト ディスプレイアームを導入 W棟トイレ改修 学食・W棟エントランス・廊下 共用部ソファと教室椅子のクリーニングを実施

## ジェロントロジー企画 第10弾 「稲刈り×講座」を実施

2022年9月4日(日)、多摩大学「ジェロントロジー企画」第10弾「山梨県南アルプス市で稲刈り×講座」を実施しました。本企画は、「多摩大学 寺島実郎監修リレー講座」の受講者を対象に、農業体験を通して、リタイア後の世代が新たな社会参画を考える企画として2017年より開始したもので、今回で10回目の実施となります。

第9弾(2022年5月)の企画において植えた苗が、田んぼ一面に実った稲として広がっている光景をいざ目の当たりにすると、参加者の気分も高揚していきました。作業中は晴天に恵まれ、照りつける太陽の陽ざしの下、参加者は大粒の汗を流しながら刈り取りを行いました。刈り取った稲は麻縄で縛り、陽に当て干して乾燥させる「はざかけ」を行うため、「うし」と呼ばれる器具を組み立て、干していきました。こうした一連の作業を一般参加者、教職員、学生で力を合わせながら行いました。昼食では、景色を眺めながら南アルプス市の食材で彩られた「ふるさと弁当」をみんなで美味しくいただきました。その後、疲れた体を癒すため「やまなみの湯(南アルプス市交流施設)」へ移動しました。温泉につかった後は会場を加賀美山法善護国寺に移し、南アルプス市教育委員会文化財課のご協力により「甲斐源氏加賀美遠光の館跡と法善寺」のテーマで講座を受講しました。加賀美遠光は鎌倉幕府を支えた甲斐源氏であり、娘の大武局は2代將軍頼家、3代將軍実朝の養育係を務めました。法善寺は加賀美遠光の館跡と伝えられており、最初にご住職から寺院についてのご紹介がありました。その後は境内を散策しながら、甲斐源氏の歴史を学びました。今回は貴重な武田信玄ゆかりの宝物も鑑賞させていただき、この地に根付く歴史を体感することができました。

最後の行程では、「道の駅しらね」に立ち寄り、南アルプス市産の新鮮なフルーツや採れたて野菜の買い物を楽しみました。長い一日となりましたが、生産活動を経験し、歴史と文化を学ぶ充実した時間となりました。



稲刈り(はざかけ)の様子



講座「甲斐源氏加賀美遠光の館跡と法善寺」



集合写真

## 多摩大学と奥多摩町が包括連携協定を締結

2022年9月22日(木)、奥多摩町(東京都西多摩郡、町長:師岡伸公)と多摩大学(東京都多摩市、学長:寺島実郎)は、開かれた地域社会を志向し、自然豊かな奥多摩町を軸とした地域社会への貢献を図るため、多摩キャンパスにて包括連携協定を締結しました。

多摩大学と奥多摩町の繋がりは、2016年に経営情報学部の松本祐一教授がシンポジウムに登壇したことから始まり、同年4月から松本祐一ゼミが奥多摩町で活動を開始。特産の「治助芋」の栽培に関わり、学園祭にてオリジナルメニューを販売しました。その後も、松本ゼミと奥多摩町の関係は深まっていき、2020年~2022年には、コロナ禍においても、町営若者住宅の調査や奥多摩町長・副町長との会談、ワサビ田見学、氷川地域の清掃活動開始など積極的に学生目線での活動を積み上げています。奥多摩町は、面積の94パーセントが山林という豊かな大自然に囲まれた環境ですが、一方で少子高齢化に伴う空き家問題、森林の保全と活用、オーバーツーリズムなど日本の縮図とも言える課題が山積しています。その課題に立ち向かうためには、ゼミ活動だけではなく、大学の研究・教育資源を投入して、地域との連携を深めながら、多様な展開を図る必要があります。そのため奥多摩町と多摩大学の包括連携協定を基盤にして、新しいプロジェクトが計画されています。それが、学生の発案で生まれた「多機能型地域活性化拠点」のオープンです。町民、移住者、関係人口、観光客の交流拠点、特に「奥多摩で何かをやりたい」事業者や個人が、相談ができ、町民との繋がりをつくれる場を目指します。拠点の場所、機能と事業内容、運営方式、地域住民とのコミュニケーション、資金などの課題を、今後、奥多摩町と多摩大学でワーキンググループをつくり検討していきます。



(左)奥多摩町長 師岡伸公氏  
(右)多摩大学副学長 杉田文章



集合写真 ※撮影時のみマスクを外しています

## 鎌倉市と鎌倉市観光協会と包括連携協定を締結

鎌倉市(神奈川県鎌倉市、市長:松尾崇)と公益社団法人鎌倉市観光協会(神奈川県鎌倉市、会長:大森道明)及び多摩大学(東京都多摩市、学長:寺島実郎)は、鎌倉市の観光振興の推進や次世代の人材育成を図ることを目的として、令和4年11月1日付けで包括連携協定を締結しました。本連携協定締結により、鎌倉市、鎌倉市観光協会及び多摩大学は、観光振興の推進や次世代の人材育成を目的に各々の人的及び知的資源を活用した連携協力を図ります。

<連携協力事項>○鎌倉観光に関する調査等の実施 ○観光振興に係る支援・協力に関すること・教育、研究及び人材育成に関すること  
○その他本協定の目的を達成するために必要と認められること

## 藤沢商工会館ミナパークにて「シンポジウム 2022」開催

2022年10月31日(月)、藤沢商工会館ミナパークにて、2022年度グローバルスタディーズ学部主催シンポジウム「コロナ、ウクライナを超えて－日本のレジリエンスを考える」を開催。今年で11回目となるシンポジウムには、鈴木恒夫藤沢市長をはじめ行政関係者や市民などの参加がありました。

鈴木恒夫藤沢市長は、「藤沢市は藤沢市観光協会、多摩大学と三者連携協定を結んで7年。観光PRのアンケート調査や観光振興計画、外国人観光客向けの表示案内やメニューの作成、国際シティ交流など多方面にわたり多摩大学のご協力を得ています。コロナ禍で観光は滞っていましたが、最近実施した『子どもお出かけ応援事業』や『湘南藤沢キュンとする食べ歩き事業』など非常に好評で、活性化への兆しが見え始めています。今後も皆様が快適に過ごしてもらえるよう努力していければと思っております」と述べました。安田震一副学長は、講演「提携校との今後の展開について」で、藤沢市と連携して提携した大学として、中国雲南省昆明市の大学との友好都市締結35周年記念事業への参加や文化交流、台湾とタイでの国際旅行博覧会への参加などを報告。またタイや台湾の姉妹・友好都市の大学との藤沢・湘南への知見を広めるための提携プロジェクト、沖縄の公立名城大学国際学群観光産業専攻との地域活性化・交流イベントなど、今後の取り組みや展開についても紹介しました。寺島実郎学長は、基調講演「コロナ、ウクライナを超えて－日本のレジリエンスを考える」において、資料集『寺島実郎の時代認識 2022年秋号』を参照しながら、世界のGDPシェアの推移と日本の割合、情報・文化産業の20年間の変化、アジアダイナミズム、ウクライナ危機とロシアの本質、ネットワーク型世界観、DXの時代、プーチンとロシア正教、円レートの推移、債務残高、都道府県別食料自給率などについて、数値やグラフをもとに最新状況を講じました。



鈴木恒夫藤沢市長



安田震一副学長



寺島実郎学長の講演



会場の様子

## 「海外からインバウンド誘致の提案」コンテスト開催

2022年10月29日(土)、藤沢商工会議所ミナパークにて「海外からインバウンド誘致の提案」コンテストを開催しました。

本コンテストは訪日外国人観光客(インバウンド)の受入れが解禁され、ウィズコロナで観光が復活しつつあることを背景として、共立女子大学と多摩大学グローバルスタディーズ学部の共催として開催されました。

共立女子大学からは、国際学部菅野敦志教授のゼミナール生が、グローバルスタディーズ学部からは田中孝枝准教授および李崗専任講師らの指導を受けた学生たちがイベントに参加しました。共立女子大学からは6チーム(12名)、グローバルスタディーズ学部からは3チーム(11名)および個人エントリー4名の計15名が参加しました。

コンテストは藤沢を中心とした湘南地域をどのようにインバウンドで盛り上げるかが焦点となり、若者目線で見た・触れた・感じた藤沢・湘南など興味深い提案がなされました。これらの中からいくつかのテーマは今後実際に実行する予定です。

またアンケートには今回のような企画をまた開催して欲しいとの意見が多くあり、藤沢を中心とした湘南地域でのニーズが把握できたため、今後はそうしたニーズに学部をあげて応えていきたいと思っております。



## 神奈川県教員採用試験 4名合格

2022年9月末、神奈川県教員採用試験の最終結果が発表され、グローバルスタディーズ学部生4名が見事合格しました(内1名既卒業者。また神奈川県ホームページによると、今年度の神奈川県教員採用試験(中学校・英語)の合格者は39名。つまり約10%が多摩大学の学生になります)。

2020年度、2021年度と横浜市教員採用試験に合格者を出しており、この3年間で6名の公立学校合格者を輩出しています。採用試験に臨む学生たちが互いに学びあいながら努力を重ねてきた結果です。また既卒生に対しても教職課程担当教員が面接対策などのサポートをおこないました。しかし4月から「先生」としての仕事の出発点に立てたというだけです。まだまだ学ぶことも多いかと思いますが、多くの経験を積み、生徒の皆さんに寄り添える先生に成長されることを期待しています。

## 多摩大学初代学長 野田一夫名誉学長 逝去

初代学長で、名誉学長の野田一夫先生が2022年9月3日、逝去されました。享年95歳でした。

野田先生は本学設立にご尽力され、1989年から1995年まで初代学長として本学の発展に多大な寄与をされました。学生満足度向上のため、VOICE（学生による授業評価）制度やコア・タイム（オフィスアワー）の実施、年間講義案（シラバス）の導入など、当時としては画期的で既成概念を打破する構想のもと、理想とする大学教育の在り方を追求されました。また、徹底した実学重視のため産業界出身者を教員として積極採用するなど、斬新な実学志向の教育を推進されました。「休講根絶」「退学勧告」など本学独自の制度は当時大きな話題を呼びました。

本学初代学長を退任後は、公立宮城大学初代学長、事業構想大学院大学初代学長を歴任、日本の高等教育に多大な功績を残されました。

野田先生は産業界への貢献も大きく、1950年代当時、国内では馴染みのなかったピーター・ドラッカーの著書『現代の経営（邦題）』を訳出し出版するなど、ドラッカーを日本に広めた第一人者としても知られています。日本における経営学の確立に尽力、その後は国内シンクタンク先駆けである財団法人日本総合研究所を設立されました。

本誌 Rapport の名称の由来も、野田先生が多摩大学開学準備時に、当時の本学関係者や協力者・支援者に心を込めて送っていたハガキ通信「Rapport」に端を発しています。

多摩大学と野田先生の足跡は、本学多摩キャンパス「歴史未来館」でもご覧いただけます。

生前の多大なる功績に感謝するとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



野田 一夫 名誉学長



GOETHE（ゲーテ）掲載記事（2010年6月号）



歴史未来館での展示

### 【野田一夫先生 略歴】

- 1952年 東京大学社会学科卒業<産業社会学専攻>
- 東京大学大学院特別研究生<企業経営論専攻>（～1955年）
- 1955年 立教大学赴任、助教授を経て1965年教授（～1989年）
- 1960年 マサチューセッツ工科大学ポストドクトラル・フェロー（1962年まで、企業経営の国際比較研究）
- 1970年 財団法人 日本総合研究所設立に当り、茅誠司理事長のもとで初代所長（～1980年）
- 1975年 ハーバード大学東アジア研究所フェロー
- 1981年 財団法人 日本総合研究所理事長（～2001年）
- 1985年 社団法人 ニュービジネス協議会設立に当り、初代理事長（～1987年）
- 1989年 多摩大学設立に当り初代学長
- 1993年 社団法人 日本マネジメントスクール会長（2012年4月～一般社団法人へ移行）
- 1995年 多摩大学退任（4月～現在 同大学名誉学長）
- 1997年 県立宮城大学設立に当り初代学長（～2001年3月）
- 2001年 財団法人 日本総合研究所会長（2006年～2010年理事長）、名誉会長（2012年11月～一般財団法人へ移行）
- 2006年 財団法人 社会開発研究センター会長（2002年～2006年理事長）名誉会長（2013年4月～一般財団法人へ移行）
- 2008年 多摩大学学長代行（～2009年3月）
- 2012年 事業構想大学院大学学長（～2014年3月）、名誉学長

### 【主な著書】

- ・現代の経営（自由国民社、ピータードラッカー著の翻訳ー1958年）
- ・戦後日本の経済成長（岩波書店、共著、日経経済図書文化賞受賞ー1963年）
- ・財閥（中央公論社ー1967年）
- ・E・ヴォーゲルと語る日本企業の生命線（PHP研究所ー1986年）
- ・大学を創る（紀伊国屋書店ー1991年）
- ・私の大学改革（産能大出版部ー1999年）
- ・悔しかったら、歳を取れ！（幻冬舎ゲーテビジネス新書ー2012年）